

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	23227005	研究期間	平成23年度～平成27年度
研究課題名	ホスホイノシタイドによる細胞ダイナミズムの制御	研究代表者 (所属・職)	竹縄 忠臣（神戸大学・大学院医学研究科・特命教授）

【平成26年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>研究代表者は、ホスホイノシタイド (PI) 研究において世界をリードし、アクチン調節タンパク質による細胞運動、細胞骨格の制御、また膜変形による糸状仮足や細部内膜輸送の調節など、多くの業績を上げてきた。本研究では、新たな PI 結合タンパク質として PSTPIP2 および SH3YL1 の細胞微細構造構築に関わる作用機序について、また、PI の局在化を制御するタンパク質について研究を展開し、着実な成果を上げている。PIR121/sra の研究は、タンパク質の発現がうまくいかず中断したが、その代わりに PI の時空間制御に関わる SKIP や Sac1 の機能を明らかにするなど、研究は発展している。また、2型糖尿病の原因における SKIP の重要性などの新たな成果も特筆に値する。</p>	